

ALL FOR ONE

日本カバヤ・オハヨーホールディングスグループ コミュニケーション誌 創刊号

日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社

日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社発足!

「目的」を追求し、
「目標」を達成するために。



日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社
代表取締役社長 野津基弘

グループ存在目的

- ・人の多様性と卓越性の卓越を求め、礼儀と道理を以って、人に尽せることを幸せとし、家族との絆と幸福を求める
- ・世界に通用する人材育成への責任を持ち、自由闊達な議論を以って、企業価値を創造する
- ・地域への責任を持ち、社会の向上と貢献に務め、尊敬され、頼られる存在となる
- ・日本国・国民としての誇りと自信を持ち、国家の繁栄に貢献し、勇気を以って世界の発展に貢献する

日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社を設立!!

目的を追求するために

- 意思決定を明確に現場に伝える
- 現場と直接つながる
- 「管理」から「経営」へ
現場にこそ、問題があり、現場にこそ解決策がある

経営方針

- 一、人材投資・育成
- 二、失敗を恐れず挑戦し、強靱な企業体質になる
- 三、感動を創出し、地域・社会への貢献に努める
- 四、誇りあるブランドの構築
- 五、国際競争力を持つ企業となる

!! 世界基準 !!

中・長期経営計画の「創造」と「策定」が始まった!!

中・長期経営計画『創造と策定』のテーマ

真の欲求を究めて、ホンモノをカタチにする!



・・・つまり、
Innovation



Innovation = Communication × Speed

●Innovation を起こす 5つの原則

- ❶ 最初から完璧を求めない
- ❷ 不可能と決めつけない
- ❸ ユーザーに焦点を絞る
- ❹ 共有はアイデアを生む
- ❺ データを基に考える

(by google)

- 不完全なアイデアであっても、
すぐさま口に出して社内でコミュニケーションを図る!!
- イノベーションは1人では生まれない。
コミュニケーションこそがイノベーションを起こす!!

FOCUS

真の欲求

▶ 月に行きたい

ホンモノをカタチに

▶ 宇宙旅行士育成×運用技術者育成×ロケット開発

感動を生み出す経営とは!?

あらゆる現場から生み出される知見や技術を結集し、
感動と希望を与えるチカラこそが、我々が求める経営

始まりはたった1枚の企画書

OHAYO PRIDE 「焼プリン」



古川 廣志氏

日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社
執行役員 グループ経営戦略担当
オハヨー乳業株式会社 専務取締役

オハヨー乳業の「焼プリン」は、今年4月で発売から24年を迎えた。卵をふんだんに使用した本格的なおいしさや、食欲をそそる香ばしい焦げ目など、これまで実現が難しいとされてきた難題をイノベーションによって切り開いた看板商品だ。構想から市場投入まで足掛け13年に及ぶ、焼プリンに懸けた男たちの物語を紹介する。

「賞味期間」の壁

「こんな資料が奇跡的に残っていたんですよ」――。焼プリンの開発に一貫して携わった同社専務取締役の古川廣志が持参したのは、「昭和54年1月26日」と日付の入ったセピア色に変色した試作配合表だった。その商品名は自ら名付けた「真ブ

リン」。卵をたっぷりと使った本格的なプリンづくりに胸躍らせる、入社から間もない若手研究員だった古川の熱い思いがストレートに伝わってくる。

ヨーロッパ出張帰りの上司から「現地にはガラスやアルミの容器に入った焼いたプリンがあった。あれができないか」と、古川に打診があったのはその配合表を書き上げる数カ月前のことだった。当初は作り方も分からず、料理本などで研究。1月26日から始めた試作で粉乳やバター、卵などを使い半年ほどの間に味なども決まっていたのだが、商品として販売するための保存試験で、「賞味期間」という最初の壁にぶつかった。

全国の量販店に流通させるためには2週間の賞味期間が必要となる。しかし、実際に試験を始めるとわずか3～4日しかもたないことが判明。研究を重ね、1週間程度まで伸ばすことはできたが、それでも「合格点」には程遠く、やむなく商品の開発をいったん中断することになった。



ヒントになったのは、試作室で見つけた
研究員の失敗作だった。



平成4年発売当初のデザイン

挫折を味わい、その後はゲルプリンの研究を4年ほど続けていた古川だが、知り合いの業者から「使っていないレトルト釜がある」と持ち掛けられたのが転機となった。加圧加熱殺菌ができるこの装置を使い、翌年には熱湯を使って蒸した「蒸しプリン」が完成。過去に研究していた焼プリンとは別のものだが、どちらも卵を使って凝固させた本格的なプリン。原料的にもかなり近いもので、焼プリンの販売に向けて大きなステップになった。

カスタード、クリームチーズ、チョコレートの3タイプの蒸しプリンは瞬間にヒット商品となったが、古川の頭の中には「2週間の賞味期間」が常にあったという。その執念は平成元年7月、突然実を結ぶことになる。

真夏の夜の「ひらめき」

暑い夏の夜、床に就いた古川の頭にふと「卵と牛乳などを分けて殺菌する」というアイデアがひらめいた。卵は60度で固まるためそれ以上は加熱・殺菌できず賞味期間を延長することができないが、蒸しプリンづくりの手法をヒントに試作したところ、予想通りの結果が出た。昭和54年に「真プリン」の試作配合表を書いてから、最大のハードルを乗り越えるまでに既に10年の月日が流れていた。

この時期にもう1つの課題となっていたのが、卵に付着する菌の対策だった。工場などで大量に使用する業務用の卵は液

卵として購入するのが一般的だが、卵は殻を割った瞬間から菌が付着し始める。業者に無菌状態の卵をオーダーしてみたもののあっさり断られた古川は、「おいしい焼プリンを作るためにはどうしても必要。業者が供給できないのなら自社でやろう」と割卵機の購入を上司に直談判。大きな投資だったが、「当時は焼プリンの商品化が会社としての大命題であり、上司もその必要性を受け入れてくれた」。これで商品化のめどが立った。

茨城県の関東工場では焼プリン用ライン建屋の建設が進んだ。当時、本格的な焼プリンは洋菓子店しか販売しておらず、手応えは日増しに高まっていたが、ライバル会社から焦げ目こそないもののオープンで焼いた「焼きプリン」が発売されてしまう。急きょ開催された社内会議で「焼プリンというからには、見た目も大切。香ばしいおいしさを持たせるためにも、何としても焦げ目をつけよう」という声が上がリ、古川に開発の最終段階で3度目となる大きな課題が突き付けられた。

失敗から生まれたInnovation

ガラス容器に入ったプリンなら、高温で焼くことで簡単に焦げ目をつけられるが、量販店に供給するため使用するプラスチック容器は、熱を加えると溶けてしまう——。この難題を解くには1年近く時間がかかったが、ヒントになったのは試作室で見つけた研究員の“失敗作”だった。試作段階の焼プリンは表面に生じる泡を取り除いた後にオープンで焼いていたが、うっかり泡を残したまま焼いてしまった試作品に、きれいな焦げ目が付いていたのだ。

気付いた古川はすぐに技術開発課に駆け込み、現在は日本カバヤ・オハヨーホールディングス(株)執行役員(開発・技術担当)の三宅一彰らと協議を重ねた。そして泡をプリンの表面にたくさんつけられるよう工程を改良し、焼プリンの代名詞とも

言えるきれいな焦げ目をつける画期的な技術が完成。平成4年3月、満を持して焼プリンが発売された。

挑戦し続けた13年の大きな成果

発売後の市場の反響は予想をはるかに超えるものだった。半年後には関東工場は1ライン増設して3ラインとなり、さらに翌年12月には工場を増築して4ライン、平成9年9月に現在の5ライン体制に。当時400億円程度だったチルドプリン市場で、発売2年目にはシェア10%を獲得するという快挙を達成した。

「消費者、量販店にとって想像したこともない商品だったからこそ、これほど受け入れてもらえた。ノーベル賞を受賞した皆さんも同じだと思うが、何度も悩み挑戦し続けていたからこそひらめいた。しつこく、あきらめずに考えることの大切さを学んだ」と古川は振り返る。

また、焼プリンの価格設定も見逃せない。発売当時の価格はカスタード180円、3個パック300円など強気の設定。営業サイドからは「もう少し下げるべきでは」と懸念する声もあったが、従来のゲルプリンとは全く異なる本格的な味わい、おいしそうな焦げ目という付加価値を備えた焼プリンの魅力を信じて決断。消費者はそれを高く支持した。

また、古川は現状に目を向けてこう語った。「24年前、文字通り『真プリン』として開発し商品化したが、現在の焼プリンは、私が考えたものとは違うものになっている。ギリギリの品質を維持しているとはいえ、価格競争に巻き込まれ、原材料費を削減して生産している今の焼プリンは、開発者としての本意ではない。流通している焼プリンは本当に満足されているのか？もっと圧倒的な価値を備えた焼プリンがあるはずだ」。

誕生後、約四半世紀を経過し、舌の肥えた消費者をも唸らせる『真焼プリン』の投入が至上命題となっている。

(文中敬称略)

「もう一度、美味しい焼プリンを」(古川氏)

次号予告

断じて許さない焼プリンの失墜



なぜ失墜したのか徹底検証！

THE ROYAL WORLD PROJECT

コース設計家 長渡譽一さんインタビュー

2016年1月からスタートしたザ・ロイヤルゴルフクラブのコース改修。4月には、すべてのグリーンへの種まきが終了するなど、工事は順調に進んでいます。今回、コース設計家の長渡譽一さんに、ザ・ロイヤルワールドプロジェクトに対する思いや自身が考える最高のゴルフ場など、熱い思いをインタビューしました。



我が人生の集大成となる理想のコース

— 今回のプロジェクトについての率直な感想を聞かせてください

ここ数年、これほど大きなプロジェクトにかかわったことがありませんでした。もう私の人生では出会えないだろうとあきらめていたので、話をもらった時、本当にうれしかった。すぐに飛びつきましたからね。ここまで資金を投じて、ゴルフ場を改修するとは思っていませんでした。

— 東京レジャー開発には、ゴルフ場が6つありますが、ザ・ロイヤルオーシャンを選んだ理由は

野津社長からいろいろ提案がありました。最終的に富嶽カントリークラブとザ・ロイヤルオーシャンに絞ったんですが、地形的な特徴を考慮しザ・ロイヤルオーシャンを選んだのです。世界基準のコースを作ろうということだったので。選んだ理由の一つは、このコースはほとんど岩盤がないことです。土木工事によって、短期間で思ような変化をつけられるというのが大きいですね。バンカーの深さやグリーンの形状、フェアウエーのうねりなどの変更は、富嶽では難しいと判断しました。



— ザ・ロイヤルオーシャンは世界基準を目指すということですが、世界のゴルフ場を見てきた長渡さんの世界基準とは

ゴルフ場に設計基準というものはありません。コース設計家として、海外のプロゴルファーがどういうコースをどういった戦略でラウンドするかは常にチェックしていますが、コースの世界基準を明確にすることは難しいですね。ただ、自分なりの考えは持っていますよ。ゲーム性も考慮しながら、自然を生かしたコース設計を心掛けています。ゴルフというゲームのルールに基づいた設計が国

際基準ではないかと思っています。ゲームである以上、ルールを無視して設計したコースは、あまり良いコースとは考えていません。ここ数年、クラブやボールの進化、プレーヤーの技術向上で、プロゴルファーの飛距離は伸びています。それにより、パー5を2オンすることが常識になっていますが、私はパー5は3オン、パー4は2打で乗せられるコースが正しいコースではないか考えています。だからといって距離が長くなればよいというものではありません。プレーヤーがコースをどう攻略するかを考えられる戦略性の高いコースが重要だと思います。ゴルフはゲームなんです。プレーヤーがゲームを攻略した達成感を味わえるコースをつくりたいと常に考えています。



— これだけのビッグプロジェクトですが、自身にとってどういう意味がありますか

これは天からもらったチャンスだと思っています。設計について野津社長からいろんな要望を受けますが、ほとんどは私に任せてもらっている。本当にありがたいと思っています。先日、コースづくりに携わっているプロゴルファーの鈴木規夫さんと「このコースは2人の作品。だからだれにも責任転嫁できないよね」と話していたんです。私自身にとっても、コース設計の集大成としてやりがいを持って取り組んでいます。

— コースの特徴を教えてください

ピンの位置で攻め方が変わるように各コースを設計しています。それと、18ホールを「陰のコース」と「陽のコース」という感じで分けています。例えば、陽のコースはティーグラウンドから思っきりクラブを振れるコースです。反対に陰のコースは、ボー



ルを落とす場所を考えなければならないコース。これを意識して設計しています。この違いをプレーヤーには感じてほしいですね。もう一つ、特徴として挙げるなら、彼岸花が咲くコースを検討しています。この花が咲くゴルフ場を日本で見たことがありません。昔からずっと考えていたことなので、実現したいと思っています。ゴルファーがティーグラウンドに立った時、気持ちが安らぐようなコースになりますよ。

— 設計家が仕掛けるコース上の罠とは、どういったものなのでしょうか

コース上の罠は、プレーヤーに分かるように設置しなければならないと考えています。だまし討ちするようなコースはフェアではありませんからね。ただ、コースをどこから見れば攻略ルートが分かるかは、プレーヤーに考えてもらうようにしています。ティーグラウンドからすべてが分かる訳ではありません。ヒントはいろんなところにあるから探してください、というゲーム性を取り入れています。また、18ホールでストーリー性を持たせることも必要だと考えています。プレーヤーが1ホールごとに攻略するのではなく、各ホールを連動させて攻めなければ、簡単に攻略できないようにしています。

— 最後に世界を意識したコースづくりへの意気込みを聞かせてください

このコースがどう評価されるかは分かりませんが、私の理想を最大限実現させたゴルフ場にするため頑張っています。毎朝現場に行くのが楽しみで仕方ないですから。夢のような時間を過ごしていますよ。ぜひ完成を期待してほしいですね。



ザ・ロイヤルワールドプロジェクト第3弾

いよいよコース全貌が明らかに!
待ってろ、世界!!



新入社員133人が グループ企業の未来に参加！！



日本カバヤ・オハヨーホールディングス 合同入社式

4月1日、今年度のグループ合同入社式が、ターミナルスクエア12階大ホールで開催された。

今年の新入社員は、グループ合計で133人。最初は緊張した面持ちだったが、野津基弘社長から「グループ経営において『世界基準』を掲げている。現状の積み上げではなく、あるべき姿を明確にし、そこから逆算して、今、何をすべきかを考えられる人材になってほしい」と激励。新入社員はもちろん、その他の出席者も身が引き締まっていた。

新入社員研修スタート 新社会人としての大きな一歩踏み出す



初日、2日目に講演いただいた哲学者の大橋一陽先生。
アリストテレスの哲学を通じて、仕事だけではない「生き方」「幸せ」
などを皆で考える機会となった



明確なビジョンを持って仕事に取り組むことの大切さを、ご自身の
体験を通じて紹介したプロゴルファーの鈴木規夫氏。
厳しい世界で活躍してきた鈴木プロからは、社会人における礼儀の
大切さを学んだ



研修2日目、ママカリフォーラムでの
グループディスカッション



各部署の仕事内容を学ぶことで、
企業全体の業務を把握(オハヨー乳業)



自分たちの研修を振り返ることで、
社会人として何が大切かを改めて
学んだ(カバヤ食品)

グループ企業



カバヤ食品株式会社

チョコレート、クッキー、プレッツェル、キャンディ、グミ、清涼菓子、玩具菓子を製造、販売する総合菓子メーカー。ものづくりのコンセプトを「夢」とし、笑顔と感動のあるお菓子を創造します。



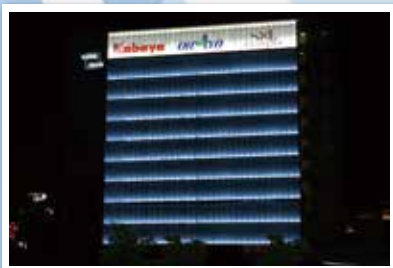
オハヨー乳業株式会社

オハヨー牛乳をはじめ、ヨーグルト、アイスクリーム、プリンなどのさまざまな乳製品を全国に届ける牛乳・乳製品メーカー。誇りあるブランドを目指して、業界内のイノベーションを起こし続ける企業を目指しています。



エクセルパック・カバヤ株式会社

商品パッケージや板紙（紙容器や段ボールなどに使用される厚紙）の印刷、成形を手掛ける紙器メーカー。中四国でも注目される設備をもち、市場ニーズの高い短納期小ロット生産体制を構築し、活躍の場を広げています。



株式会社スクエアビル

岡山駅前の一等地に立地する「ターミナルスクエア」の管理、運営。岡山駅前の好立地を最大限に生かし、「入居したいオフィスNo.1」を目指します。



フジ物流株式会社

乳製品などのチルド日配品、アイスクリームなどの冷凍食品、菓子など常温品を全国へ輸送し、エリアごとの協力会社と共同配送で商品を供給ロジスティクスの限界をネットワークによって超えています。



東京レジャー開発株式会社

全18コースから富士山を望む富嶽カントリークラブ（静岡県）や練習場に加え、全9ホールのショートコースが人気のカバヤゴルフガーデン（岡山県）など、全国6カ所でゴルフ場を運営。世界基準の先頭を走るThe Royal Golf Clubはレクリエーションとゴルフ界を創造し直します。

エス・バイ・エル・カバヤ株式会社

岡山県内と広島県をエリアに、全国ブランドのエス・バイ・エルと自社オリジナルのカバヤホームを展開。40年を超える信頼と実績、そして社員の明るい人間力で年間受注棟数約600棟を販売しています。



株式会社イケダペットファーム

ペットショップを全国14カ所で展開。イヌ、ネコなどのペット、ペット用品の販売、トリミングなどのサービスに加え、京山店では動物病院も併設。動物と人をつなぐ文化を提案しています。



トータルアシスト・カバヤ株式会社

保険会社の各種損害保険（自動車、火災、傷害など）、生命保険を取り扱う保険代理店。事故防止の啓もう活動や安全運転講習会を開催し、事故削減に努めるなどグループ社員が「安心」できるライフプランを提案します。



株式会社瀬戸内海経済レポート

岡山の経済情報を発信する「週刊Vision岡山」、企業の業績などをまとめた「岡山企業年報」を発行。岡山の経済界における随一のアーカイブを持ち、地域に密着した「使える」情報を発信し続けています。



OIC 三友学園教育グループ

専門学校岡山情報ビジネス学院は、地元への教育分野における社会貢献を目指し1985年に創立。自立する人となる教育を実践しています。自由高等学院は、クラーク記念国際高等学校の技能連携校（全日制）、希望高等学園は、同高校の教育連携校（通信制）として、心の通う教育を実践しています。



株式会社システムメイト

パソコンから汎用機まで幅広く手掛けるソフト開発企業。技術と信頼にこだわり、若い力が中心となってシステム開発から保守まで、きめ細やかなサービスを提供しているグループのIT戦略企業です。



日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社

中・長期経営計画をキックオフ



挨拶をする堀井副社長

野津社長は「自由と秩序の間には約束がある。その約束が、この中・長期経営計画。真の欲求を究め、ホンモノをカタチにしていく」と。

4月25日、各社の中・長期経営計画発表会を開催し、グループ企業の役員ら約200人が参加しました。各社が10年後に目指す企業の姿を見据えたうえで、スタートとなる今年度の重点施策や数値目標を発表。各社ともこれまでの事業計画とは違う新しいアクションプランを掲げており、グループ各社一丸となってチャレンジし、資産価値の向上にむけてまい進する考えです。

日本カバヤ・オハヨーホールディングス 堀井取締役副社長より

**「同時発信・同時参加・同時突破
を目指せ！」**

力強い推進力をもって中・長期経営計画のスタートを切りました。

さくらまつり



3日間で約1万人が来場 カバ車のイメージソング披露

4月2～4日の3日間、カバヤ食品の岡山工場で「さくらまつり」が開催されました。今年は初のグループ開催となり、3日間で11,221人のお客様がいらっしゃいました。

初日は、全国各地でライブを行っているアカペラグループ「クリアランス」が、イベントに合わせて制作したカバ車のイメージソング「Go! Go! カバ車」を披露しました。オハヨー乳業のアイスの無料配布も大好評。陽気のおかげもあり、多くのお客様がおいしそうにアイスを食べていました。

カバ車との記念撮影や輪投げコーナー、オハヨー乳業の飲料販売や試食アンケート、エス・バイ・エル・カバヤの住宅相談会など、恒例の人気コーナーや新たなイベントが催された今年のさくらまつり。満開を迎えた桜やアーモンドの花とともに、地域の皆さまとの楽しいひとときとなりました。

専門学校岡山情報ビジネス学院 入学式



新入生過去最高の613人が入学 人生で勝負できる人間に

専門学校岡山情報ビジネス学院は、4月12日、ホテルグランヴィア岡山で入学式を行いました。

今年度は14学科613人が晴れて入学。企業と連携した実践的な職業教育や毎年夏に開催しているオープンキャンパスによるPR活動など地道な活動が実を結び、創立以来、昨年に続き過去最高の入学数をマークしました。

榊原俊章学院長は「本校の使命は、入学した学生一人ひとりの潜在能力を引き出し、皆さんの進路を実現させることです。初心を忘れず、社会から信頼され、夢を実現するために人生で勝負する人間に育てほしい」とエールを送りました。

"世界のアオキ" ジュニアレッスン



"世界のアオキ" が熱血指導 ジュニアゴルファー 50人参加

東京レジャー開発が運営するゴルフ練習場、カバヤゴルフガーデン（岡山市）で3月26日、プロゴルファーの青木功選手による「ジュニアレッスン会in岡山」が行われました。

子どもたちにゴルフの楽しさを伝えようと企画。有名プロ選手から直接レッスンを受けられるということで、定員を上回る50人が参加しました。

クラブに応じたスイングチェックのほか、ショートコースをラウンドしながら本当のゴルフの魅力を肌で感じてもらうことが出来ました。初めてコースに出る子どもたちが多かったこともあり、ゴルフマナーについても指導していきました。青木プロは「スポーツを通じて礼節を学び、学校や家庭での生活に役立ててほしい」と話していました。

日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社



日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社

本 社 岡山市北区駅元町1-4 ターミナルスクエア11階
電 話 086-223-7131
Website <http://kabaya-ohayo.com/>

カバヤ食品株式会社

本 社 岡山市北区御津野々口1100
電 話 086-724-4300
Website <http://www.kabaya.co.jp/>

オハヨー乳業株式会社

本 社 岡山市中区神下565
電 話 086-279-1231
Website <http://www.ohayo-milk.co.jp/>

エクセルパック・カバヤ株式会社

本 社 岡山市中区雄町394-12
電 話 086-279-8900
Website <http://www.exl-kabaya.co.jp/>

株式会社スクエアビル

本 社 岡山市北区駅元町1-4 ターミナルスクエア11階
電 話 086-224-0371
Website <http://www.square-building.com/>

フジ物流株式会社

本 社 瀬戸内市長船町長船1177-2
電 話 0869-66-0222
Website <http://www.fujibutsuryu.jp/>

東京レジャー開発株式会社

本 社 東京都中央区日本橋小網町10-2 日本橋フジビル5階
電 話 03-3669-2964
Website <http://tokyo-leisure.jp/>

エス・バイ・エル・カバヤ株式会社

本 社 岡山市北区中仙道2-9-11
電 話 086-241-8811
Website <http://www.sxl-kabaya.co.jp/>

株式会社イケダペットファーム

本 社 東京都中央区日本橋小網町10-2 日本橋フジビル6階
電 話 03-5614-7165
Website <http://www.ikedabokujou.co.jp/>

トータルアシスト・カバヤ株式会社

本 社 岡山市北区下石井2-1-3 岡山第一生命ビルディング11階
電 話 086-235-4422

株式会社瀬戸内海経済レポート

本 社 岡山市北区西島田町8-9
電 話 086-805-6188
Website <http://www.visionokayama.jp/>

O I C 三友学園教育グループ

専門学校岡山情報ビジネス学院
住 所 岡山市北区駅元町1-4 ターミナルスクエア1階, 3～12階
電 話 086-224-2336
Website <http://www.oic-ok.ac.jp/>

クラーク記念国際高等学校 岡山キャンパス

住 所 岡山市北区島田本町1-2-12
電 話 086-239-1623
Website <http://clark.oic-ok.ac.jp/>

希望高等学園

岡山校 住 所 岡山市北区幸町9-1 幸町会館4階
電 話 086-232-8135
津山校 住 所 津山市大手町11 みつやビル2F
電 話 0868-35-2380
Website <http://www.oic-ok.ac.jp/kibou/>

株式会社システムメイト

本 社 岡山市北区芳賀5325-1 岡山リサーチパーク9-1
電 話 086-286-9131
Website <http://www.system-mate.com/>

日本カバヤ・オハヨーホールディングスグループ コミュニケーション誌「ALL FOR ONE」

発行：2016年5月31日
制作：「ALL FOR ONE」編集室
〒700-0981 岡山市北区西島田町8-9
(株)瀬戸内海経済レポート内 ☎086-805-6188 FAX 086-805-6177

●「ALL FOR ONE」について

ラグビーで有名な「ONE FOR ALL, ALL FOR ONE」。紳士のスポーツとしてのプリンシパル(principle)ですが、ONE FOR ALLだけが取り沙汰されています。本誌では、そういった従来からの考え方から脱却。社員一人一人の働きをグループが全力で支えていく、その決意を意味します。